

## はじめに

九州・山口県では、台風や梅雨前線による洪水や土砂災害が毎年のように発生しています。平成 21 年は、梅雨前線の活発な活動により「平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨」が発生し、山口県、福岡県、佐賀県及び長崎県で合計 34 名の犠牲者が出ました。特に山口県防府市では、土石流や山崩れにより 19 名の犠牲者が出るなどの大きな被害となりました。このほか、九州・山口県を中心に全国で 1 万棟を超える浸水害や、1 千か所を超える土砂災害も発生しました。

また、鹿児島県の桜島では、昨年一年間だけで 545 回の爆発的噴火が発生するなど、火山の活動は一段と活発化しています。

気象庁は気象の警報や注意報、台風予報、地震・津波・火山情報等の防災情報を発表して、地方自治体などの防災関係機関の活動を支援するとともに、国民へ警戒や注意を呼びかけています。また、警報・注意報や情報の質を高めるとともに、これらの機関との連携・協力を深めることにより、防災対応がより効果的なものとなるよう努めています。

この防災気象情報ハンドブックは、防災関係機関の方々に、気象台の発表する気象情報、地震・津波情報、火山情報を的確に利用していただくため、それぞれの情報が、どのような状況のときに、どのような意図で発表されるかを解説したものです。2010 年版の刊行にあたり、情報の内容等について 2009 年版刊行後に変更された点を改めるとともに、情報の利用に役立つ資料を更新しました。

本書が防災関係機関における防災活動の一助となれば幸いです。

平成 22 年 5 月

福岡管区気象台長  
宇平 幸一